

建設防災委員会では、動物園についての議論を進めます。

令和4年 建設防災委員会 2022.2.18

さとう:やっぱりここは皆さんとネットやワークショップなど対話型の話し合いを重ね、神戸市はこういう考え方なんですよという説明をしっかりと、納得していただき進めていく。神戸市民ありきの、市民の皆さんがいるから神戸市がありますので、その辺りを大事にして進めていただきたい。話し合いの場というのはこれから持っていていただければいいかなと思います。

我が会派より、「令和4年度予算代表質疑(2022.2.24)」にて王子公園再整備(案)

の策定プロセス、大学誘致、一部スポーツ施設の廃止、王子動物園の老朽化対策について質疑いたしました。2021年12月に出された「王子公園再整備基本方針(案)」については、市民への周知や理解が得られておらず事業計画の策定プロセスの透明化を求めました。また、大学誘致公募の基準や条件、廃止予定スポーツ施設(テニスコート、プール・サブグラウンド)の存続への提案、動物園の老朽化対策や園舎の環境整備などについて質疑いたしました。

殺処分ゼロに向けてさらなる取り組みを!

令和3年 福祉環境委員会 2021.6.21

さとう:動物管理センターの猫の殺処分の数についてはかなり減少してきているが、殺処分ゼロに向けてさらなる取組が必要。そのために、動物管理センターにおいてケージを増やすなど、保護できる収容頭数を増やして譲渡につなげていく取組が必要と考えるが。

丸尾健康局長:猫の殺処分数につきましては、平成28年の神戸市人と猫との共生に関する条例が制定された時が406頭、令和2年度は95頭まで減少ということで大幅に減少しております。特に殺処分の多くを占めていた子猫につきましては、347匹から50匹と、7分の1程度まで減ってきており、繁殖制限事業の成果が出てきているものと考えております。



視察しました!

どうかについても、時間をかけて丁寧に判断ができるようになる。昨年度から、譲渡前に聞いていただく講義の一部を映像でネットに流すなど市民の方にも見ていただきやすいような工夫も、新センターについては、立地場所が良く、多くの方に来ていただけるのではないかと考えている。また、現センターの改修も活用し、今後もさらに譲渡の促進、殺処分の削減に努めて参りたい。



こうべ動物共生センター

しあわせの村にドッグランを!

令和元年 外郭団体に係る特別委員会 2019.12.13

さとう:しあわせの村は土地も非常に広くパーキングも多い。ドッグランなどの予定というのはないのか。藤井保健福祉局担当部長:委員御指摘のそのドッグランにつきましては、愛犬家のマナー向上とか、あるいは犬を通じたコミュニティーの形成など、一定の効果があるというふうには考えている。その一方、人や犬同士のかみつき事故であったり、あるいは鳴き声やにおいの対策という課題もある。有識者会議の議論も踏まえながら今後検討してまいります。

子宮頸がんワクチンの周知について

令和3年 予算特別委員会 健康局 2021.3.3 (令和3年度予算)第2分科会

さとう:子宮頸がんワクチンの接種率は諸外国に比べて非常に低いと聞いている。市では二十歳の女性を対象に子宮頸がん検診無料クーポンを配布するほか、新たに定期接種対象者である小学6年生から高校1年生相当の女子児童に対してリーフレットを送付する予定とのことだが、その際は、ワクチンの効用性、リスクについての正しい知識を普及していくことが重要であると考え。具体的にどのような方法で周知を行う予定か。

その次の年には小学校の6年生の接種期間の初めの年にリーフレットを配って、知っていただくのも1つの方法と思う。リーフレットにこだわらず予防接種ナビ、ホームページ、それらでいろいろな面で情報提供を続けていきたい。

●子宮頸がん(HPV)ワクチン予防接種の積極的な勧奨の差し控えにより、公費での接種機会を逃した方に対する予防接種(キャッチアップ接種)
●HPVワクチンの接種を自費で受けた者に対する償還払いについて
厚生労働省 子宮頸がんワクチンについて 詳しくはこちら▶

神戸市学校園 現場視察

桃山台中学校では、三年生の英語と数学で理解度に応じたグループに分けて教える「習熟度別指導、少人数授業」を実施しています。全ての子どもに同じ授業を受けさせると、どうしても理解度に差ができてしまい、子どもたちが授業についていけなくなり、学校が面白くないと感じてしまうようなこともありますので、習熟度クラスは非常に良い取り組みだと思いました。何より、子どもたちや保護者のニーズが高く、大きな役割を果たしているようです。



2022.3.1 本会議

ウクライナ侵攻に抗議する議決を...

令和4年3月1日の緊急の本会議で、ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する議決を全会一致で採択しました。武力によるロシアの攻撃は、平和に暮らすウクライナの人々の命を奪い、人権を踏み躪り、国際社会の秩序を大きく乱すものです。到底許されるものではありません。一刻も早い収束を願います。ウクライナ大使館宛に、心ばかりの寄附をさせていただきました。



2022.3.1 本会議

もっと強く、もっと優しいまち 神戸へ! さとっまち通信 11号
発行元: 日本維新の会 神戸市議員団
〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 1号館29階
TEL.078-322-0185
FAX.078-322-0184
E-mail:info@kobe-ishin.jp
https://kobe-ishin.jp

神戸のおいしい水を広報として活用!

令和3年決算特別委員会第2分科会水道局質疑にて要望させていただきました。ラベルの刷新とQRコードによる水情報のリンクも実現いたしました。(私がデザインしたわけではないですが)デザインも好評をいただいております。今後、さらなるQRコードの活用(外国語対応、川や滝の動画)などについて提案しております。

令和3年 決算特別委員会(令和2年度決算) 第2分科会 水道局 2021.9.15

さとう:最後に要望なんですけれども、神戸の水道水のイメージアップのため、広報グッズの1つとしてポトルドウォーターがあります。以前にも御提案させていただきましたが、ボトルのラベル・デザインにつきましては、例えば、神戸の若手イラストレーターを登用するなど、多くの方々に積極的に手に取っていただけるような取組を心がけていただきたいと思います。また、ボトルのラベルにQRコードをつけるなど、検討いかがでしょうか。例えば、布引周辺や六甲山の美しい景色とリンクすれば、水のイメージアップにもなりますし、外国の方々へのアピールにもなると思います。ポトルドウォーターは広報のためには必要とは思いますが、現在の知名度ではもったいないとも思っております。広報グッズとして、今まで以上に活用するためにぜひ御検討をお願いいたします。

布引深流の水 カウ・ウォーター
今後、500ミリリットルも製造。神戸インフォメーションセンターの他、北野工房のまちで販売を開始。今後も商業施設などで販路を広げる活動を行っていくとの事でした。
https://kobe-wb.jp/kobewater/

令和3年 決算特別委員会 建設局 2021.9.17 (令和2年度決算)第2分科会

さとう:千葉県八街市において、下校中の児童が犠牲となる事故を受け、国から通学路の合同点検を実施する方針が示されましたが、神戸市における対応はどのように考えているのか。三島建設局長:本市におきましては、従来より通学路の交通安全対策に取り組んでいる中で、まず平成24年に亀岡市で発生した交通事故を契機に、警察、教育委員会、危機管理室、建設局などで構成する神戸市通学路交通安全推進合同会議を設立いたしました。継続的に通学路の危険箇所の把握、点検及び対策を実施してきております。その事故を受けまして、文部科学省のほうから、当該事故の観点から、これまでの通学路安全点検の取組を補完する合同点検を行う旨の通知が7月9日付で、教育委員会宛てに発出されているところでございます。同日付で、警察庁及び国土交通省から道路管理者宛てに、合同点検への協力を要請するような通知も発出されております。継続的に危険箇所の抽出を行っており、警察と協力しながら、必要な安全対策を検討、実施しているところでございます。今後も引き続き、小学校や市民の御意見を聞きながら、新たな危険箇所の把握に努め、誰もが安全に利用できる道路を目指して取り組んでいきたいというふうな考えでございます。

垂水養護学校と垂水体育館の跡地に 中核的医療施設 令和7年2月 開院予定!

神戸徳洲会病院整備事業計画書
産科・小児救急を含めた救急機能を持つ急性期病院として、また、在宅療養後方支援病院としても近隣の医療機関と連携を図り、地域の中核を成す医療機関となるよう計画をすすめています。
このような病院に...
●24時間365日、最善の医療を受けられる病院として
●地域住民の方々へ、安心と安全を届けられる病院に
●子どもや女性の"よりどころ"になれる病院に
●院内の講堂が、地域コミュニティの場として、広く利用されるように
●高齢者や障害者の雇用支援ができるような病院に
神戸徳洲会病院整備事業計画書 詳しくはこちら▶

~神戸・五色塚古墳アニメMVプロジェクト~

「ワンダリズム きみを呼ぶ声」
3月にウェブで公開予定!
兵庫・神戸にある巨大遺跡、五色塚古墳を舞台にしたSFストーリー。遠い未来、全てが海に沈んでしまった世界で、主人公・なつしまが不思議な石に導かれて世界の秘密に迫る旅に出ることになる。アニメーターのしんが原案。
「ワンダリズム きみを呼ぶ声」 詳しくはこちら▶

社会における女性活躍推進のための質疑をしてきました。

●令和元年 外郭団体に関する特別委員会 2019.7.29

さとう:女性活躍推進がよく言われているが、今後、女性の管理職を増やすという取組みはあるのか。**パッと見て、本当に男性ばかり**と思いましたが。
西元神戸市道路公社常務理事:道路公社の場合、プロパーの職員として雇ってはございませんので、神戸市からの派遣がメインでございます。ですので、うちとしては**能力を要求するだけで、女性が男性かというのを指定はしていません。**

●令和元年 外郭団体に関する特別委員会 2019.9.9

さとう:女性活躍に力を入れているということだが、どのように考えているのか。例えば、**ママフレ(子育てに約立つホームページ)**と**連携していく**とか、そういったターゲットを絞ったような発信というのはいかがか。**今後展開**がありましたらお伺いしたい。

川田公益財団法人神戸市産業振興財団常務理事:当財団に起業の相談に来られる女性の割合というのは年々上昇し、平成30年度では女性が47%となっている。実際に起業される方も4割近いという形で、非常に女性の起業の機運は高まっていると感じている。当財団においても女性起業家支援に積極的に取り組んでいるところで、**今後とも効果的にやっていきたい。また、子ども家庭局のママフレであったり、市民参画推進局のホームページなどと連携し、必要な情報を必要な方に届けるという広報に取り組んでいきたい。**

さとう:支援の輪が広がり、女性も起業しやすいという世の中になれば良いと思う。ものづくりセミナーに至っては、**保育施設、託児施設は充実しているのか**、今後どういった方針でそれをやっていくのか伺う。

川田公益財団法人神戸市産業振興財団常務理事:他都市の動向も踏まえ、**近隣の託児サービスとの連携なども研究をし、前向きに検討してまいります。**

●令和2年 予算特別委員会第1分科会 2020.3.3 (令和2年度予算) 市民参画推進局



2020.12.7 令和2年第2回定例会市会11月議会

ように分担をすべきと考えますが、できていない男性が多いとも伺っております。国は男性の育休取得率を上げようとしておりますが、**育休は取っても、家事や育児ができない、家事や育児に積極的に参加しない男性もいる**という話を多く聞きます。しかし、それはただの**休暇**となりますし、そういった意識が根強いと思われる。そうすると、男性の育休に関してもいまだ深い理解が得られないのではないかと考えます。社会等においても、**上司などの育休制度への理解がまだまだ不十分**であり、男性も含め、周りのサポートがもっと必要であると考えます。**このような状況では、なかなか肝心の女性活躍が進んでいかない**のではないかと危惧しております。女性の活躍推進には男性の意識を変える取り組みが不可欠と考えますが、現状をどのように考えているのか。また、現在どのような対策を行っておられるのか。

岡田市民参画推進局長:女性活躍のための男性の意識改革という御質問でございますけれども、**御指摘のとおり**、社会のさまざまな分野で、より一層女性が活躍をしていくためには、仕事と生活が両立できる環境づくり、これに向けた諸制度の充実はもちろんのこと、**男性の意識改革**、これまでの働き方や生き方を見直して、**家事・育児等への男性の参画を進めていくことに対する理解、これを社会全体で進めていくこと**、また、**男性自身の意識の变革、これは大変重要**であると考えています。女性の就業率も上昇してきています。また、共働き世帯も増加していますが、**御指摘のとおり、家庭内での家事・育児等**に関して、やはり役割分担の問題、あるいは長時間労働を背景に、**女性の負担が依然として重い。これが女性の活躍が進まない一因となっている**というふうにも私も理解をしています。

また、国の調査では、男性の家事・育児時間を増やすために必要なこととして、1つに**残業が少なくなる**こと、そして上司の理解など職場環境に関するもの、そしてそれ以外に、**配偶者とのコミュニケーションの向上**や男性の家事・育児のスキル向上が必要とする回答が多くあった。この男性の家事・育児スキルの不足が男性の実際の行動に大きな影響を与えているものでもあるというふうにも考えている。一方、本市においては、企業の経営者あるいは管理職層を対象としたセミナーを行い、「すくらむKOBE」を発行し、**育児休業を取得した企業の男性社員の声を取り**

上げるなど、意識改革につながるよう取り組んでいる。また、市内中小企業の女性リーダーの育成を目的として、女性活躍推進プログラム@神戸を毎年開催をし、女性社員の上司に当たる男性にも研修の1カリキュラムに参加をいただき、この上司の役割、理解というものを深める取り組みを一緒になって取り組んでいる。さらに、イクボス養成プロジェクトとして、**部下のワーク・ライフ・バランスに理解のある上司をふやすためにワークショップ**を行ったり、また、男性の家事・育児への積極的な参加に向け、あすてっぷKOBEにおいて男性向けセミナーを開催をする他、保健福祉局においてはプレパパママ食育講座を行っている。いずれにしても、**御指摘のように、男性の意識を変えるための取り組み、そして会社などにおけるサポートの必要性を訴える取り組みというのを進め、女性活躍につながる、そういう意識を醸成していきたい。**

さとう:男性の意識改革を進めていくためには、少数が参加するセミナーを開催するだけでは不十分ではないかと考える。家庭でのあり方や会社の対応など、どのようにすればいいかわからなく、他人事に捉える男性、親世代と同じようなふるまいをしてみましょう男性が依然多いのではないかと。そこで、**育休を取得しようとする男性全員**にも、どのようにすればいいか、どう考えるべきかを学べるような研修を受けてもらいたい。**例えば全ての職場で男性全員が受けなければいけない研修を実施**など、何らかの方策が考えられないか。

黒田市民参画推進局副局長:男性の意識改革に向けた取り組みの御質問ですが、女性活躍に向けた男性を含む社会全体の意識改革に向け、**御指摘のとおり、事業者等と連携し、研修などさまざまな機会を通じて取り組むことを進める必要**。本市では、**市内の経済団体等27団体**に御参加をいただきまして**神戸市男女共同参画推進会議を開催し**、各団体での取り組み等に対する情報交換や意見交換、啓発事業等を行っている。昨年度は、この会議と共催で実施、企業経営者や管理者層等を対象とした**ワーク・ライフ・バランスに関するセミナーを開催**。新たに経済学的な視点を盛り込み、男性の家事が家計を助け、さらに男性自身の負担軽減につながる、そういうことをお知らせしたり、**日本の男性の家事・育児参加水準は国際的に見てまだ極めて低い**ということであるとか、**企業では忌引は一般的なのに、子供が生まれたときに休むことが一般的ではないのはどうということなのかといった問題提起**などもございまして、**男性の経営者の方々からも大変好評**であったと聞いている。

また、**このセミナーに刺激を受け、今年度、男性育休100%宣言**を行い、**会社の男性の育児休業を取得しやすい社内制度を導入した結果、男性の育児休業の実績が上がった**ことを報告いただいた。そういう男性の役員の方もおり、男性上司の意識改革につながったことが実感できるものとなった。また、平成15年度から、男女がともに働きやすい職場づくりに取り組む市内事業所を**こうべ男女いきいき事業所**として**101事業所を表彰**。表彰事業所の中には、男性管理職の意識改革に取り組んでいる事業所や、育児休業を取得した男性・女性職員とその上司が参加してライフプランを含めたキャリア研修を実施している事業所もある。こうした先進的な取り組みを情報紙、先ほど局長から申し上げました「すくらむKOBE」等で発信をいたしまして、市内の他の事業所の取り組みの参考となるように努めている。また、令和元年度から、市内大学と連携し、大学生がゼミで表彰事業所を訪問。その取り組みを大学生目線で市のホームページなどで発信する事業を行っている。大学のほうからも、大学生が直接企業の方々からさまざまな工夫や取り組みを聞く機会がこれまでなかったと聞いていて、若年世代の意識改革や理解の促進につながる機会につながっていると考えている。個別の会社での研修など難しい面もあるが、**今後も引き続き、御紹介したような市内経済団体等と連携し、効果的な手法での取り組みを検討して、男性を含む社会全体の意識改革につながるよう努めてまいります。**

さとう:セミナー、大切なんですけれども、育児1日のサイクルを、例えば授乳しているときは家事をする、お風呂のときはお布団とか片づけ、洗濯をするなど、連係プレーということが本当に必要になってくると思いますので、そういった詳細のことを盛り込みながら、やっていただきたい。**こういった取組を進めることによって、職場の課題が浮き彫りになってくる**こともある。ぜひ考慮の上、御検討よろしくお願いたします。

●令和2年 第2回定例会市会(11月議会) 2020.12.7

さとう:人口減少、超高齢社会を迎え、誰もが性別にかかわらずその意欲に応じて、個性と能力を発揮できる社会を実現する必要があります。女性活躍推進法の成立やコロナ禍において顕在化した様々な問題など、今後はあらゆる分野で男女共同参画、女性活躍の視点を持ち、広報啓発に取り組んでいく必要があります。

近年、働く女性の活躍を後押しする法整備は進展しておりますが、なお、実態面での男女の格差は残っており、特に我が国では女性の就業率は大きく上昇しているものの、就業する女性に比して管理職に就く女性の数が欧米諸国などに比べ低い水準となっております。本市においても、女性の管理職の割合は依然として低いのが現状であり、**議会においても男女雇用機会均等法施行当時、すなわち30年以上も前から既に女性の管理職登用についての質疑が行われていた**ことから考えても、**今日までの取組の効果を疑問視される**を得ません。今まで女性の負担が大きかったことが大きな要因で、今起こっている少子化問題は今までの政治、行政の生

み出した1つの残念な結果であるとも思っております。女性活躍の大きな弊害となっているのは明らかです。そこは1人産んでも2人目は難しいというゆえんでもあります。だからこそ、**市として積極的に取り組み、問題点を抽出し、精査しながら民間・市民に対してどんな支援を行うべきなのか、効果的かつ効力のある対策を講じていただきたい**と思えます。それをするだけでも神戸市は市民に優しい市となります。それと、人材不足といいますが、潜在的なマンパワーはあります。社会がそれを受け入れる体制が整っておらず、安易な方向に走り、掘り起こしができなただけだと思われます。緩々申し上げましたが、コロナ禍において、もともとあった女性の負担がさらに重くなったことは明白な事実なので、これを機に女性活躍推進のさらなる推進を実効的に行える取組みをお願いいたします。



2020.12.7 令和2年第2回定例会市会11月議会

神戸市女性職員の活躍推進計画 (令和3年3月)

[詳しくはこちら▶](#)



●令和3年 第2回定例会市会(9月議会) 2021.9.6

さとう:例えば、**労務職の女性は募集さえしていなかった**ということもあった。たとえ応募がなかったとしても、性別が職業選択の障害とならないよう、常に**門戸は広く広げておいていただきたい**。女性の活躍を言いますのは、やはり神戸市の大きな課題として、**人口の流出**というのがある。その一因として、市民の皆様のお声十分に反映できていない結果とも感じております。**今まで足りていなかった女性の登用によって、より市民の皆様に寄り添った施策**ができ、**より元気でにぎわいのあるまちへ**となるのではないかと考えます。一番の広報は口コミ。神戸市民が他都市の方々へ神戸の良さや、住み良さなどを1人1人が広報できるような施策が増えていけばと願っております。

女性職員の登用につきましては、昨年の11月議会でも市長からも力強いお言葉を頂き、目指すところは同じで、思いも同じと想っております。今西副市長からも、管理職になることへの女性職員の意欲を醸成するなど、積極的に取組を進めてまいりますとの御答弁もいただきましたが、職員の皆さんはじめ、一般企業においても、働く側からの一番大事なことは、限られた時間で、より効率的に働くことができるシステムと、万一分が抜けたときにも、周りのフォロー体制が整っているということが必須だと思います。

そして、このたびは家庭の役割が多くなりがちであることから、女性活躍としましたが、もちろん、LGBTQの方々も含め、誰もが引け目なく個性を発揮し、活躍できる神戸市となることを願っております。

➡その後、令和3年第2回定例会市会にて、**市長より、労務職職員の性別要件について女性活躍の推進や雇用機会の確保の観点から、令和4年度採用選考、すなわち令和5年4月に採用される職員からということになりますが、性別要件を撤廃をしたと考えている。との発言あり。**

土砂災害特別警戒区域 レッドゾーンの支援制度について質疑。

●令和4年 予算特別委員会(第2分科会) 2022.3.7

さとう:次に、レッドゾーンの支援制度についてお伺いいたします。近年、豪雨災害の危険を及ぼす大雨の発生頻度は増加しており、これからますますその危険性は高まり、**日本におきましては過去10年ほどで実に97%以上もの市町村で水害、土砂災害が発生**しております。**土砂災害特別警戒区域、いわゆるレッドゾーン指定**により、**既存不適格となる住宅が移転・改修支援制度を設けていることは承知しておりますが、例えば定期的に関き取り調査をするなど、支援制度を周知するためにどのように取り組んでいるのか**お伺いいたします。

新見建設局担当部長:レッドゾーン内の移転・改修支援事業についてでございます。御指摘の移転・改修支援事業につきましては、土砂災害による危険からの住民の生命の安全を確保するために、**土砂災害特別警戒区域内にありす住宅等の所有者に対して、移転や改修の支援を行うもの**でございます。この支援制度の周知につきましては、やはりレッドゾーンが指定された直後というのが、市民の方の関心が非常に高い状態となっております。そういうタイミングで周知を行っていくことが、やはり効果的ではないかというふうにも考えておりましたが、したがって、指定を受けたタイミングで全ての住宅を対象に、区域内の住宅を対象に、お知らせ等を送付するなど、個別に郵送して送付するなどの丁寧な対応に努めきたところでございます。以上でございます。

さとう:レッドゾーンの指定というのはいつされるんですか、1年に1回でしたか。
新見建設局担当部長:レッドゾーンにつきましては、兵庫県のほうが各区、北区をスタートに順次指定をしてまいりまして、実は昨年度末で一旦、神戸市内は全体レッドゾーンの指定が完了しております。今後につきましては、法に基づいて一定期間、5年程度をごとに、地形の改変等の見直しを行いながら、指定の再度更新をしていくというような形になっておまして、現在は市域は一定指定がされた状態になっております。

さとう:**この移転制度、すごく充実されているか**と思うんですけども、**何件の利用があったのか**お伺いいたします。

新見建設局担当部長:制度そのものは、委員御指摘のとおりかなり手厚いものにはなっておりますが、実は使用の実績、**支援制度を使用された実績**というのは、**今現在把握しているのが1件**です。正直いまして、あまりまだ進んでおりません。一方、周知のほうは、先ほど申し上げましたように、レッドゾーンに指定された段階で、全ての住戸にお知らせをしておりますので、我々が把握している範囲では、周知のほうはかなり進んでいるかと思えます。ただ、じゃあ使われているのがなぜ進まないのかという辺りが、何か**やはり原因があるんだろう**ということで、**モデル地域を設定して、昨年度からレッドゾーンにお住まいの方の意向調査**なんかをしております。その結果なんかを見ていきますと、やはり1つのことだけ、**土砂災害だけ**ということではなくて、いろいろなその地域の問題が複合的に絡んでいるということが、ちょっと見えてきておりますので、使用しやすい制度になるように、今、研究を進めているところでございます。

さとう:モデル地域の設定ということをお伺いしたいんですけども、ちょっとまた前任(委員会)のほうで、また聞いてみたいと思います。【時間制限により】

レッドゾーンの住宅にお住まいの方々への移転・改修支援制度

[詳しくはこちら▶](#)



2021.9.6 令和3年本会議

●令和4年 予算特別委員会(第2分科会) 水道局 2022.3.9

- 水道修繕受付センターの認知度向上について
- 検診票の活用について→裏面のさらなる活用の提案をしています。
- 検診票の電子化について
- スマートメーターの導入について
- 他都市との連携について
- 導入への条件整備について
- 再生可能エネルギーの活用について
- 水力による発電について
- 再生可能エネルギーの広報について など

水道修繕サギ“0”を目指しましょう! と、質疑いたしました。

神戸市からのお知らせ

悪質業者にご注意!

水もれ・排水管のトラブルは

水道修繕受付センターへ

0120-976-194 24時間 365日

神戸市水道局・建設局下水道部

KOBE WATER LABO

楽しい研究などが満載のキッズページです

大人も楽しめますよ!

[詳しくはこちら▶](#)

路上喫煙・ポイ捨て問題に取り組んでいます! (日本維新の会 川口議員)

令和4年 予算特別委員会局別審査/環境局 2022.3.3

川口まさる議員:条例により、市民等には、路上喫煙しないよう努める努力義務があるが、路上喫煙禁止地区以外に罰則は無い。

J R舞者駅の灰皿をめぐる受動喫煙の問題に環境局として対応すべきだと思うがどうか。

環境局:舞者駅前のたばこ屋さんがお店の横に灰皿を設置している。民有地につき、たばこの吸い殻入れを置くこと自体には、条例上制約は無いが、結果的に路上喫煙を招いてしまうことが問題である。環境局においても、路上喫煙者に注意指導を行い、「路上喫煙・ポイ捨て防止」の看板を設置する等対応を行っている。また、路上喫煙指導員による巡回指導を新たに始めたほか、来年度は、民間の啓発員による巡回指導も実施をしたい。

川口まさる議員:私は責任ある個人の自由意志が最も重要だと考えており、行政による、市民の行動や習慣に対する干渉は、できるだけ少ない方が良いと考えている。しかし、喫煙の自由は、誰かが間近を通る場合には制限されるべきだ。大阪市の条例においても、神戸市と同じように市民等に努力義務があるが、罰則は禁止地区内に限定されている。その**大阪市の松井一郎市長は、市内全域を路上喫煙禁止地区とする方針**とのことだ。神戸市においても、条例の喫煙禁止地区の指定を含めて、対応を検討するよう要望する。